



軟式野球

津田体協学童野球クラブ

(松江市東津田町)



津田の体協学童野球クラブ = 津田小学校グラウンド

約40年の歴史を刻む古豪。松江市立津田、乃木、中央各小学校の12人が在籍し、週4回の練習では打つ、投げる、走るといった基本動作の確認に時間を割いている。

発足時から指導する大房勝三監督(64)は「勝つことはもちろん大切だが、将来を見据えて基礎練習の反復を徹底している」と指導理念を説く。

少年期に覚えた動きは成長してから身に付けるのが難しいため、練習では、ボールの握りや投げ方といった基本を理論立てて説明。紅白戦などで野球を楽しむのも忘れない。

少子化に伴い、最盛期に比べれば選手は少なくなったものの、児童たちは、学校や学年にかかわらず声を出し、ランナーの位置やアウトカウントなど実際の試合状況を意識して取り組んでいる。

田中良磨主将(12)は「最後まで諦めないのが持ち味。チームワークもとてもいい」と胸を張る。

(山陰中央新報H25年7月27日付「スポーツ広場」掲載)